

## 2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221422067	臨床栄養学 I Clinical Nutrition I	林 明日香	✓	専門	2	必修	2後期

## 科目の概要

この科目は、DP2・3・4・5・6に記載されている、管理栄養士に必要な専門的知識・技能を修得し、自立した管理業務が行えるよう、疾患の病因・病態から適切な栄養食事計画作成への繋がりを学ぶ。授業は、栄養ケア・マネジメントの概要、代謝内分泌疾患、肝臓疾患、消化器系疾患、循環器疾患、腎臓疾患を取り上げ、これらの栄養管理について学ぶ。担当教員は教育機関・病院にて管理栄養士を34年間務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。この授業は実務経験を活かした講義を行う。

学修内容	到達目標
① 疾患の定義、病因・病態を学修する。 ② 栄養食事療法の基本を学修する。 ③ 疾患別の栄養食事指導・生活指導のポイントを学修する。	① 疾患の定義、病因・病態の特徴を理解している。 ② 栄養アセスメントから栄養食事療法に繋げることができる。 ③ 疾病別の栄養食事指導・生活指導のポイントを理解し、栄養食事計画の繋がりが理解できる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	常に積極的に授業に取り組み、課題を主体的に取り組むことができる。
	働きかけ力	周囲に働きかけをしながら友達と協力し学修することができる。
	実行力	傷病者のために最適な栄養食事計画を立案できる。
考え抜く力	課題発見力	自ら課題発見をしながら、自己研鑽に努めることができる。
	計画力	計画的に課題を実施し、栄養食事療法の基本を学修できる。
	創造力	創造力を発揮しながら、傷病者の栄養状態をアセスメントできる。
チームで働く力	発信力	必要に応じて、発信をしながら正確な情報を得ることができる。
	傾聴力	傾聴力を発揮して知識を高め、栄養食事計画に繋げることができる。
	柔軟性	様々な問題に対し柔軟性を保ちながら、物事を考えることができる。
	状況把握力	状況把握しながら、栄養食事計画の基礎を学修できる。
	規律性	規律性を保ち、期日内に課題を提出することができる。
	ストレスコントロール力	ストレスの状況においても、平常の力を発揮することができる。

## テキスト及び参考文献

テキスト：エッセンシャル 臨床栄養学 第10版 佐藤和人 本間健 小松龍史編 医歯薬出版  
ワークシート：課題シートをgoogle classroom内に用意します。

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ、臨床栄養学実習、栄養評価管理実習  
資格との関連：管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者・監視員、栄養教諭

## 学修上の助言

毎回授業の予習を行い、今まで習った知識を復習で整理しながら授業に臨むこと。  
また、この授業は「臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ」「臨床栄養学実習」に繋がる重要な科目となっているため、授業内容が身につけているか、小テストで随時確認します。

## 受講生とのルール

- 遅刻3回は1回欠席扱いとします。
- 課題は期日内に提出が完了していること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	75	①	✓	到達目標の①②③について理解しているか確認します。 社会人基礎力を含め評価し、S：90%以上、A：80～89%、B：70～79%、C：60～69%、F：60%未満として総合的に判定します。  知識の獲得：80% 知識の活用：10% 知識の解決：10%	
			②	✓		
			③	✓		
	学修成果	小テスト	5	①	✓	小テストは毎回実施し、知識の定着状況を確認します。  知識の獲得：50% 知識の活用：50% 知識の解決：0%
				②	✓	
				③	✓	
		レポート	10	①	✓	授業課題の提出状況と内容から総合的に評価します。  知識の獲得：0% 知識の活用：50% 知識の解決：50%
				②	✓	
③				✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①			
			②			
	③					
学修行動 社会人基礎力 (学修態度)		10	①	✓	(主体性) 常に積極的に授業に取り組み、課題を主体性に取り組める。 (実行力) 傷病者のために最善な栄養食事計画を立案できる。 (課題発見力) 自ら課題発見し、自己研鑽に努めることができる。 (創造力) 創造力を発揮し、傷病者の栄養状態をアセスメントできる。 (発信力) 必要に応じて、発信をしながら正確な情報を得ることができる。 (傾聴力) 傾聴力を発揮して知識を高め、栄養食事計画に繋げることができる。 (規律性) 規律性を保ち、期日内に課題を提出することができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
疾患の定義、病因・病態の基本を理解し、栄養食事計画に活用できる。筆記試験及び社会人基礎力が共に優れている者をS(秀)とする。	疾患の定義、病因・病態を理解し、栄養食事計画をひととおり実践できる。また、疾患別栄養管理計画を標準的なレベルまで理解しているものをB(良)とし、十分ではないが課題を期日までに提出しようとし、ほぼできている者をC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	臨床栄養学の意義と目的 医療制度の基本を学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	臨床栄養学の目的を理解している。	(予習)学修内容のテキスト項目p333～,p349～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 働きかけ力 傾聴力 状況把握力
2	栄養ケア・マネジメントの概念 栄養アセスメントを学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック	栄養ケア・マネジメントの概要と栄養アセスメントについて理解している。	(予習)学修内容のテキスト項目p367～,p371～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 傾聴力 柔軟性
3	栄養補給法 経口栄養法、経腸栄養法、経静脈栄養法の適応を学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	栄養補給法の種類について理解し、選択できる。	(予習)学修内容のテキスト項目p411～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 計画力 傾聴力
4	代謝内分泌疾患① 肥満症、高尿酸血症の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック	肥満症、高尿酸血症の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習)学修内容のテキスト項目p67～,p83～,p77～,p101～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	課題発見力 創造力
5	代謝内分泌疾患② 脂質異常症、動脈硬化性疾患の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	脂質異常症、動脈硬化性疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習)学修内容のテキスト項目p70～,p90～,p106～,p124～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	課題発見力 創造力
6	肝臓疾患① 急性ウイルス肝炎、慢性肝炎の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	急性ウイルス肝炎、慢性肝炎の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習)学修内容のテキスト項目p40～,p54～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	課題発見力 創造力
7	肝臓疾患② 肝硬変の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	肝硬変の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習)学修内容のテキスト項目p45～,p55～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	課題発見力 計画力 創造力
8	消化器疾患① 肝癌、脂肪肝、胆嚢炎、膵炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、胃癌の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	肝癌、脂肪肝、胆嚢炎、膵炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、胃癌の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習)学修内容のテキスト項目p46～,p47～,p60～,p49～,p61～,p51～,p64～,p4～,p16～,p7～,p18～,p9～,p250～を読みまとめる。 (復習)課題シートを整理し、まとめる。	180	課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	消化器疾患② 炎症性腸疾患の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ 循環器疾患① 高血圧症の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	炎症性腸疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 高血圧の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) 学修内容のテキスト項目p12～, p29～, p108～, p125～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
10	循環器疾患② 高血圧症(続き)と心疾患の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	高血圧症(続き)と心疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) 学修内容のテキスト項目p107～, p124～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
11	循環器疾患③ 脳卒中・摂食嚥下障害の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック	脳卒中および摂食嚥下障害の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) 学修内容のテキスト項目p118～, p132～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
12	腎臓疾患① 慢性腎臓病(CKD)、糸球体腎炎の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	慢性腎臓病(CKD)、糸球体腎炎の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) 学修内容のテキスト項目p149～, p164～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
13	腎臓疾患② ネフローゼ症候群、腎不全、糖尿病性腎症の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	ネフローゼ症候群、腎不全、糖尿病性腎症の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) 学修内容のテキスト項目p155～, p172～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 規律性
14	代謝内分泌疾患① 糖尿病の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	糖尿病の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) 学修内容のテキスト項目p75～, p96～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 実行力 規律性
15	代謝内分泌疾患② 糖尿病性腎症、腎不全の病因・病態と透析を含む栄養食事療法について学ぶ 透析の栄養食事療法の復習	講義 google classroomでの課題のフィードバック	糖尿病性腎症、腎不全、急性腎障害(AKI)の病因・病態と透析を含む栄養食事療法を理解している。	(予習) 学修内容のテキスト項目p156～, p174～, p159～, p178～を読みまとめる。 (復習) 課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力